

ベテランにも演奏の場

ニユース らうんじ

ピアノやバイオリンなどクラシックの音楽指導者には、自らの発表の場が少ない。30歳を超えるあたりからコンサートの年齢制限がかかるようになり、出場機会が激減、「お弟子さん」に道を譲り、徐

々に表の舞台から去っていくのが現状だ。そんな中、「もっと演奏の場を」という声に大手の楽器メーカーが協力、年齢制限のないコンサートが札幌市で実現した。今秋で4回目と軌道に乗ってきた。

札幌市で優秀賞を受けた。「音楽に打ち込みたい時期は人によって様々。年齢制限がないコンクールがたくさんある方がいい」

今回参加する湊重矢さん(27)は留萌支庁小平町の養護学校で音楽を教えている。「いろいろな年の方と競演できる機会が貴重。自分が将来年を重ねても、発表の舞台があるのはうれしい」と話す。

音楽会の出演者には年齢制限がある場合が多い。札幌の場合、道立三岸好太郎美術館で年数回開かれるミニリサイタルは「若手の発掘が主眼」のため、35歳まで。市教育文化会館で毎年秋に開かれている市民芸術祭新人音楽会も、作曲部門を除き30歳が上限だ。

年1回、声楽、ピアノ、管・弦・打楽器の順で開かれている北海道国際音楽交流協会(HIMES)の「HIMESコンクール」も同様だ。今年度は声楽の番で、参加資格の上限は「73年1月1日以降」生まれだった。

同協会の西村公男事務局長(67)は「若手にチャンスを与え、というのが本来の趣旨。でも個人的には、意欲がありこ

中央区のヤマハミュージック北海道札幌店で10日、開かれるコンサートは、音楽大学卒、在学中、もしくは同程度実力があれば、年齢に関係なく参加できる。クラシックであれば、声楽でもいいし、どんな楽器を演奏してもいい。昨年からは春と秋に開かれ、今回で4回目だ。

きっかけは、ピアノ教室を開く傍ら演奏家として活動する野谷恵さん(49)＝札幌市中央区の「音楽の先生たちにも活躍の舞台を」という店への提案だった。野谷さん自身、チャリティーコンサートを何度か開いている。「社会の役に立てばという願いに加え、発表の舞台を作りたい、という気持ちも強かったんです」と話す。

年齢制限なし年2回

札幌の大手楽器メーカー協力

から離れた。子どもが小学校に入ったのを機に、7年前か

ら野谷さんに師事し、今年の日本クラシック音楽コンク



●今春のコンサートには中川洋子さん(左)も参加した＝札幌市中央区のヤマハセンターで
●野谷恵さん＝札幌市中央区で



4回目の日程 今月札幌の開マラサックスで演奏する。当日2500円。問い合わせはヤマハミュージック北海道札幌店ヤマハミュージックコンサート係(011・512・6111)へ。

enjoy!

ほっかいどう

hokkaido@asahi.co.jp